

# 第34回全日本学生ライフセービング選手権大会

## 学生

### チーム1次要項

- ▼日 程 : 2019年9月21日(土)・22日(日)
- ▼場 所 : 御宿中央海岸(千葉県御宿町)
- ▼主 催 : 公益財団法人 日本ライフセービング協会
- ▼後 援 : 国土交通省、スポーツ庁、消防庁、海上保安庁、千葉県、千葉県教育委員会、  
(予定) 御宿町、御宿町教育委員会、公益財団法人 ちば国際コンベンションビューロー
- ▼協 賛 : 調整中
- ▼協 力 : 勝浦海上保安署、一般社団法人御宿町観光協会、有限会社吉田三郎商店、  
(予定) 国際武道大学トレーナーチーム、特定非営利活動法人九十九里ライフセービングクラブ、  
御宿ライフセービングクラブ

### ■競技種目

【個人種目】 種目名末尾の《 》内の数字は、各チームの最大エントリー人数を表します。

- 01 サーフレース (女子) 《2名》
- 02 サーフレース (男子) 《2名》
- 03 サーフスキーレース (女子) 《2名》
- 04 サーフスキーレース (男子) 《2名》
- 05 オーシャンウーマン 《2名》
- 06 オーシャンマン 《2名》
- 07 ビーチフラッグス (女子) 《2名》
- 08 ビーチフラッグス (男子) 《2名》
- 09 ビーチスプリント (女子) 《2名》
- 10 ビーチスプリント (男子) 《2名》
- ※ ビーチフラッグス…「参加規程 競技規則」参照

【チーム種目】 種目名末尾の< >内の数字は、種目毎の競技者数を表します。各チーム1組とします。

- 11 レスキューチューブレスキュー (女子) <4名>
- 12 レスキューチューブレスキュー (男子) <4名>
- 13 ボードリレー (女子) <3名>
- 14 ボードリレー (男子) <3名>
- 15 ボードレスキュー (女子) <2名>
- 16 ボードレスキュー (男子) <2名>
- 17 オーシャンウーマンリレー <4名>
- 18 オーシャンマンリレー <4名>
- 19 ビーチリレー (女子) ※ <4名>
- 20 ビーチリレー (男子) ※ <4名>
- ※ ビーチリレー

「選抜チーム」として、準決勝で敗退した4校から1名ずつ選手を選出し、選抜チームを作ります。例えば準決勝が2組(ヒート)あった場合、それぞれ5.6位に入ったチームから選出します。この選抜チームにおいては表彰や得点は入りません。

【特別種目】 種目名末尾の<>内の数字は、種目毎の競技者数を表します。各チーム1組とします。

21	1km×3 ビーチリレー (女子)	<3名>
22	1km×3 ビーチリレー (男子)	<3名>
※	BLS アセスメント	<2名>

- ◆ BLS アセスメントについては、1回の手技にて行います。
- ◆ BLS アセスメントについても他のチーム種目と同様に、各チームの登録競技者の中から2名のエントリー制にします(必須参加種目ではありません)。詳細につきましては、別紙にてお知らせいたします。

## ■タイムテーブル

参考までに、2018年度実施版のタイムテーブルを掲載します。

詳細は、エントリー締め切り後、2次要項とホームページにて掲載いたします。

## ■予備日

今大会において「予備日」等は設けません。

## ■得点と表彰

各種目上位1位から8位を入賞とします。さらに、1位から3位にはメダルを授与し表彰式で表彰します。また、チーム総合得点により、上位1位から8位を入賞とし、1位から3位までのチームには表彰式で表彰します。総合1位のチームには「日本ライフセービング協会理事長杯」(女子・男子)を授与いたします。

決勝の結果に対して得点を加算し、個人、チーム、特別種目とも同じ得点とします(BLSアセスメントについては得点を総合成績に反映させません)。同種目に同じチームの競技者が入賞した場合も、以下の通り得点が加算されます。配点は以下の通りです。総合順位は、実施種目の70%以上の最終競技結果をもって成立するものとします。

得点

1位-8点、2位-7点、3位-6点、4位-5点、5位-4点、6位-3点、7位-2点、8位-1点

- ① チームの総合得点が同点の場合は1位の種目の多いチームを、1位の種目が同数の場合は2位の種目の多いチームを…というように総合順位を決定します。
- ② 決勝で失格の場合は0点とします。
- ③ BLSアセスメントについて表彰はありません。詳細については、別紙にてお知らせいたします。

## ■参加費

### 【個人種目の参加費】

競技者1名につき、8,000円 ※保険料含む

### 【チーム種目の参加費】

1種目につき1,000円が必要です。

- ◆参加競技者が欠場、あるいは失格となった場合でも参加費及び変更手数料は返還されません。また、参加申込締め切り後の出場登録の取り消し、天候その他の理由により、やむを得ず中止になった場合でも参加費及び変更手数料は返還されません。また、エントリーミスにより競技会に出場できない場合にも、**返金は致しません**ので、エントリー作業はお間違えのないように十分ご注意ください。

## ■保険について

本競技会参加規程のもとの参加者（選手、競技役員）は、以下の保険に加入しています。  
なお、賠償責任保険については、競技会参加者同士の事故には法律上の賠償責任が発生しないため保険の対象となりません（例：レース中、A選手のクラフトがB選手のクラフトにぶつかりB選手のクラフトが破損した）。競技会期間中の場合は、大会本部事務局にお知らせください。

### < 傷害保険 >

死亡保険金額	500 万円
後遺障害保険金額	500 万円～20 万円
入院保険金額	3,000 円
手術保険金額	入院保険金額の 5 倍～10 倍

※代理店：有限会社リプロ（0466-55-4388）

### < 個人賠償責任保険 >

賠償責任保険（身体・財物） 1 億円

※1 事故につき 5 千円の自己負担

※代理店：株式会社第一成和事務所（03-5645-1071）

### < 団体賠償責任保険 >

賠償責任保険（身体・財物）	2 億円
賠償責任保険（管理財物）	50 万円
賠償責任保険（人格権侵害）	50 万円
事故対応費	500 万円
見舞費用（死亡）	50 万円
見舞費用（後遺障害）	2 万円～50 万円
見舞費用（入院）	2 万円～10 万円
見舞費用（通院）	1 万円～5 万円

※代理店：株式会社第一成和事務所（03-5645-1071）

## ■出場確認および代表者会議

日程：9月20日（金）

出場確認：19時00～19時30分

代表者会議：19時30分～

詳細については2次要項でチーム代表者宛に連絡します。競技会直前の重要な情報を伝達し、各種目の最終出場確認をするため、代表者会議は必ず出席してください。

## ■審判員の選出について

参加チームは、下記に応じて認定審判員を選出すること。

- ① 各チームは、エントリー選手の人数に応じた審判員を選出すること。男子チームと女子チームは別であるので、別々に選出のこと。（男女合わせての出場数ではありません）
- ② 2日間参加できる審判員を選出すること。
- ③ 選出された審判員は、競技役員1次要項を併せてよく読むこと。

※ 参加規程「認定審判員の選出」参照

※なお、選出した審判員が参加できなくなった場合は、必ず代わりの方を選出してください。

## 【申し込み】

参加する審判員は、デジエントリーにより審判員参加申し込みを行うこと。（\*期日厳守）

## ■宿泊について

必ず御宿町観光協会を通して申し込んでください。(別添、申込書)

## ■申込方法

「チーム1次要項」をよく読み、学校(男女チーム)別で申し込んでください。提出物は書類だけでなくデータファイル等もあります。提出物によって締切り日が異なります。記入漏れ・記入ミスのないように十分ご注意ください。

※ 必ず、**在籍している学校名**で申し込みをしてください。

## ■提出先

□メール提出先 ; compe@jla.gr.jp

□郵送提出先 ; 〒105-0013 東京都港区浜松町2-1-18 トップスビル1F  
日本ライフセービング協会「インカレ」事務局

## ■競技成績証明書

各種目で入賞された選手で、競技成績証明証が必要な方は JLA ウェブサイトにて申請書をダウンロード、記入し、JLA 事務局までご提出ください。発行申請は該当競技会より1年以内の期間で受付をいたします。

[http://jla.gr.jp/lifesaving\\_sports/rule.html](http://jla.gr.jp/lifesaving_sports/rule.html)

ライフセービングスポーツ→申請→競技成績証明書

## ■登録管理システム「LIFESAVERS」

システムを通じて「JLA-ID」を取得して、個人管理ページで保有資格等の確認と2019年度登録費(資格登録や選手登録)の支払いをお済ませください。各種登録は1年ごとです。なお、登録方法などご不明な点は下記のサポートセンターにお問合せください。

●メール：「LIFE SAVERS」のお問い合わせフォームをご利用ください。

<http://life-savers.jp>



## ■お問い合わせ先

日本ライフセービング協会事務局  
〒105-0013 東京都港区浜松町2-1-18 トップスビル1階  
TEL : 03-3459-1445 (対応時間 : 平日 12 : 00-18 : 00)  
FAX : 03-3459-1446

# 第 34 回全日本学生ライフセービング選手権大会 参加規程

## 1. 参加資格

競技者の参加資格は下記の 4 点を共に満たしている者、若しくは本協会が特別に参加を認めた者でなければならない。

- 1-1 大会当日の年齢が 18 歳以上であること（ただし高校生を除く）。
- 1-2 ライフセービングを志し、出場する競技会の過去 1 年以内に海岸やプール等水辺の監視・救助活動、協会が認める教育活動に 25 時間以上従事した学生（大学生・大学院生・専門学校生）であること。
- 1-3 競技者は、認定ライフセーバー資格を、**エントリー締め切り日**までに検定を受け、取得していなければならない（検定に不合格となった場合でも、大会参加費の返金はしない）。なお、認定ライフセーバー資格とは次の資格のことをいう（JLA アカデミー規程集「資格認定に関する規程」より）。
  - ・サーフライフセービングインストラクター（アシスタント含む）
  - ・プールライフガーディングインストラクター（アシスタント含む）
  - ・IRB インストラクター（アシスタント含む）
  - ・ジュニアライフセービングインストラクター（アシスタント含む）
  - ・ベーシックサーフライフセーバー
  - ・アドバンスサーフライフセーバー
  - ・プールライフガード
  - ・アドバンスプールライフガード
  - ・IRB クルー
  - ・IRB ドライバー ・リーダー
- 1-4 競技者は、**エントリー締め切り日**までに、選手登録費及び資格登録費の支払いを完了していなければならない。

## 2. チーム構成

- 2-1 チームは、申込締め切り日までに、第 3～4 種の団体登録が完了していなければならない。
- 2-2 1 団体からの出場は男女 1 チームずつとする。
- 2-3 チームは、同じクラブに所属する競技者で構成され、かつ、そのクラブの大学・大学院・専門学校に学籍がある学生のみにて構成されていなければならない。
- 2-4 本大会のチーム構成は、男子チーム・女子チームとする。男女混合のチームとして参加は認められない。

## 3. チーム名

参加チーム名は本協会に登録されているクラブ登録名とする。

## 4. 出場登録

- 4-1 1 つのチームからの出場登録者数は、最大 32 名までとする。
- 4-2 参加選手は個人種目・チーム種目・特別種目にかかわらずあらかじめ所定の用紙を用い出場種目の登録をしなければならない。
- 4-3 申込に過誤があった場合に限り、出場登録（申込締切）後の「出場種目の変更」ができる。但し、すでに出場登録がされている方のみ対象とし、新たな選手の出場登録はできない。なお、個人種目・チーム種目・特別種目の全種目について、変更できるものとする。

## 5. チーム代表者

各参加チームはチームを代表する者としてチーム代表者を 1 名おかなければならない。なお、**チーム代表者は選手と兼任することができる**。しかし、急な招集も予想されるため、選手以外の方が望ましい。また、チ

ーム代表者は必ず代表者会議に参加しなければならない。止むを得ずチーム代表者が出席者できない場合は、チーム代表者の責任において選出した代表者に準ずる者を出席させること。その際は、代表者会議前日までに ([tama.jla15@gmail.com](mailto:tama.jla15@gmail.com)) まで連絡し確認をとること。

## 6. チームユニフォーム及び競技中の衣類

- 6-1 各チームは、式典や表彰式および競技に適したユニフォーム、水着、キャップを持たなければならない。ラッシュガードは、主催団体から特別な指示がない限り競技中、任意に着用することができる。
- 6-2 ユニフォーム、水着、キャップの性質、デザインが一般良識に反すると主催団体が判断した場合は、いかなる競技者も競技に参加することができない。
- 6-3 キャップは、**競技会の申込締切前（エントリー締め切り日）までに本協会に登録されていなければならない。**
- 6-4 キャップは、チーム全員が同様の色とパターンでなければならない。オーシャン用とプール用で色やパターンが異なる場合、併用できない。キャップは、競技者の識別や判定のために重要であるため、スタート前に2本の紐をあごの下で結んで競技者の頭に着用しなければならない。スタート後に、キャップが失った場合、違反なしに競技が終了できていれば失格とはならない。
- 6-5 チームのユニフォーム、水着、キャップ、ラッシュベストに競技会のスポンサーと対立するような商標、商標名があると主催団体が判断した場合、その対応は主催団体の指示に従わなければならない。
- 6-6 公式競技会におけるオーシャン競技・サーフ種目ではラッシュベストを着用しなければならない。ラッシュベストの着用なしでの参加は認められない。

## 7. 競技者の変更

何らかの理由により、個人種目にエントリーしている競技者が大会に出場できなくなった場合は、指定された用紙に必要事項を記載し、既に登録されている競技者の中から選出すること。選手変更については、出場確認時に行うこと。

## 8. 競技器材

- 8-1 競技に使用する器材は参加競技者が用意するものとする。
- 8-2 競技で使用する器材は、「競技規則（2019年版）」の「器材の規格」の基準を満たさなければならない。
- 8-3 主催団体は、競技者の競技器材の検査・再検査を競技前、競技中、競技終了後任意に行うことができる。競技器材が基準を満たしていない場合は、その競技者はその器材を使用できないか、または失格となる。
- 8-4 特別種目「1km×3ビーチリレー」で使用する『たすき』については、代表者会議で承認を得ること。

## 9. 競技規則

本競技会は JLA 競技規則 2019 年版及び下記の事項に則り実施する。但し、下記の事項が競技規則 2019 年版よりも優先される。

- 9-1 本競技会は、最初の競技種目の招集開始時刻に開始し、最終競技種目の終了から 20 分後に終了するものとする。ただし、抗議、上訴または規律審査に属する問題がある場合、最終解決まで競技会は継続する。
- 9-2 競技会にエントリーすることで、参加者は競技会を管理する関連規則、規定、手順を知る責任と義務があることを認識しているものとする。
- 9-3 競技者がビデオカメラを着用、または他の方法で競技者に取り付けてはいけない。
- 9-4 ビーチフラッグスにおいて、競技中に起きた行為や競技規則違反についての抗議を申し出る競技者は、自分のヒートの次のランスルーの入場までに口頭で行うこと。
- 9-6 決勝は A 決勝、B 決勝に分けず、1 ヒート（A 決勝）のみとする。
- 9-7 ハンドラーは競技者と共に指定された時刻までに招集場所に集合し、オフィシャルの指示により整列すること。

## 10. 特別種目における競技ルール

### 10-1 BLS アセスメント

- ① 本大会は任意ではあるが、積極的な参加を推奨する。
- ② 詳細については別紙および代表者会議等で説明する。

### 10-2 1 km×3 ビーチリレー

#### (1) 競技人数

競技者 3名

#### (2) 使用器材

襷

「たすき」は布製で長さ 1m60 cmから 1m80 cm、幅 6 cmを標準とする。

#### (3) 1 レースの最大競技者数

40 チーム

#### (4) コース

2×1km ビーチランリレーに準じる。

#### (5) 競技の方法

- ① 靴の着用は競技中の安全を考慮し、使用可能とする。
- ② スターターの合図により競技者はスタートし、所定の 1 kmのコースを走り、たすきをチェンジオーバーゾーン内 (20m) で次の競技者に手渡す。同様のコースを計 3 名でリレーをし、第 3 競技者がゴールした順に着順を決定する。
- ③ 競技者の交代 (チェンジオーバー) は、次の競技者に「たすき」を手渡すことにより行なわれる。
- ④ 「たすき」を受け取る競技者の足の全ては、チェンジオーバーラインの上またはチェンジオーバーゾーン内になければならない。
- ⑤ 「たすき」を受け取るために、足以外の身体の一部がチェンジオーバーラインの外に出てもよい。
- ⑥ 競技中に他の競技者を故意に妨害してはならない。
- ⑦ 「たすき」は必ず肩から脇の下に掛けなければならない。
- ⑧ 共通競技規則およびオーシャン競技総則については、他の種目同様とする。

## 11 認定審判員の選出 (本大会に選手登録をしていない方)

### 11-1 参加チームは下記のとおり、認定審判員を選出しなければならない。

**選手 1~15名=1名、同 16~30名=2名、同 30名以上=3名以上。**

また、何かの理由で審判員が参加できなくなった場合は、必ず代替りの者を選出すること。

両日にわたり必要人数の選出がない (=競技会当日に必要な人数の審判員の参加のない) チームは、本競技会への出場を認めない。(チーム全体の不参加とする)

### 11-2 参加する審判員の方は、デジエントリーにより審判員・スタッフ参加申し込みを行うこと。

### 11-3 選出する審判員は、C級認定審判員資格以上を取得し、競技者として登録していないこと。

※申込締切期日までに、必ず審判員資格を取得していること。

※申込締切期日までに、必ず審判員資格登録費をお振込下さい。

### 11-4 選出する審判員は 2 日間を通じて参加できること。なお、2 日間を通じて審判員を選出できないとき (やむを得ず参加日ごとに審判員が入れ替わる場合) は、主催者は距離が近い方の 1 名分の交通費 (上限¥5,000 円) のみを支給する。

### 11-5 参加に関わる交通費、食事、宿泊は別紙「審判員・スタッフ募集要項」に基づき主催者が負担する。

### 11-6 選出する審判員は、申込締切期日までに BLS 以上の資格を所有していること。

## 12. その他

- 12-1 競技会中に競技会主催者および、競技会主催者が認めた者が撮影した写真、映像をライフセービングの広報の目的で使用する可能性がある。
- 12-2 競技会中に競技会主催者が撮影を制限したり、拒否したりすることがある。なお、撮影された記録の提出を求める場合がある。
- 12-3 競技会主催者への提出書類の記載事項に虚偽が認められた場合、競技会への参加や記録が取り消されることがある。

(以上)